

## 寄贈図書リスト

### 北海道・彗星ロマン紀行

谷本憲治著, A4判, 95p, 2,400円, すみれ書房, 写真集

### 理科年表

国立天文台編, A6判, 1054p, 1,100円, 丸善, 研究資料

### Rain of Iron and Ice

John S. Lewis 著, A5判, 240p, \$13.00, Addison-Wesley P C I, 解説書

### Blind Watchers of The Sky

Rocky Kolb 著, A5判, 338p, \$25.00, Addison-Wesley P C I, 解説書

### Mining The Sky

John S. Lewis 著, A5判, 274p, \$26.00, Addison-Wesley P C I, 解説書

### Venus Revealed

David Harry Grinspoon 著, A5判, 355p, \$27.50, Addison-Wesley P C I, 専門書

### 彗星大衝突

ジョン・グリピン, メアリー・グリピン著, 磯部瑠三, 吉川 真, 矢野 創訳, A6判, 344p, 2,200円, 三田出版, 読み物

### 観測的宇宙論

池内 了著, 194p, 3,600円, 東大出版会, 教科書

## 月報だより

### 人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

### 宇宙科学研究所教授

1. 教授 1名
2. (1) 惑星研究系超高層大気物理学部門  
(2) 神奈川県相模原市由野台 3-1-1 宇宙科学研究所
3. 超高層大気現象, 並びに地球周辺, 惑星間空間における諸現象と深い関わりのある太陽活動の研究を人工衛星によって行う。特に, 現在計画中の次期太陽観測衛星 SOLAR-B 計画全体の推進に指導的役割を果たせる方で, 大学共同利用機関である本研究所の職務を理解し, 共同利用諸計画の遂行に積極的な役割を果たしていただける方を希望する。
5. 決定後できるだけ早い着任
7. (1) 略歴, (2) 研究歴, (3) 論文リスト及び主要論文の別刷り, (4) 研究計画書 (自薦の場合), (5) 他薦の場合, 推薦書 2通, 自薦の場合, 本人のついて意見を述べられる人 2名の連絡先
8. 1998年3月7日(土)必着
9. (1) 229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1

宇宙科学研究所 庶務課人事係

電話 (代表) 0427-51-3911

- (2) 同研究所内 惑星研究系主幹 教授 水谷 仁  
内線 2515 FAX 0427-59-4237

10. 封筒の表に「教授応募 (推薦) 書類在中」と朱で明記して下さい。選考は, 宇宙科学研究所運営協議委員会において行います。応募者に適格者がいない場合には決定を保留することがあります。

### 名古屋大学大学院理学研究科

#### 素粒子宇宙物理学専攻

1. 助手 1名
2. 惑星間空間物理研究室
3. 地球磁気圏, 惑星磁気圏プラズマを含む宇宙物理学の観測的研究。火星探査機 PLANET-B に搭載の荷電粒子観測器を用いた研究および衛星搭載観測機器開発に携わっていただく。過去の研究分野にこだわらず, 人工衛星によるスペースプラズマの観測に熱意をもってあたる人材をもとむ。
5. (1) 決定後できるだけ早い時期, (2) 4年
7. 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷り, 研究業績の概要 (2,000字以内), 研究計画および抱負 (2,000字以内), 推薦書 (または応募者についての意見を伺える人 2名の氏名および所属を記載した書類)
8. 1998年2月25日
9. (1) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院理学研究科  
物理学教室主任 三田一郎  
(2) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院理学研究科  
惑星間空間物理研究室 前沢 洸

電話：052-789-3530

FAX：052-789-2875

10. 書類は履歴書以外は A 4 用紙を使用し，封筒に助手応募書類在中と朱書きすること。

### 筑波大学 計算物理学研究センター COE 研究員公募

筑波大学計算物理学研究センターでは，文部省の卓越した研究拠点（COE）の形成に係る中核的研究支援プログラムに基づく COE 研究員を下記により公募致します。

1. 研究員 1 名
2. 筑波大学計算物理学研究センター
3. 宇宙物理学
4. 超並列計算機（CP-PACS）を用いた大規模数値シミュレーションによる宇宙物理学を推進する。特に数値流体力学や輻射輸送を用いた研究に力点を置く。
5. 平成 10 年 4 月 1 日から平成 11 年 3 月 31 日まで
6. 平成 10 年 4 月 1 日現在年齢 35 才未満で，博士の学位を有する者，または博士の学位取得が確実な者。
7. (1) 履歴書，(2) 発表論文リスト（共著論文の場合は本人の役割を明記すること），(3) 主要論文別刷，(4) 研究歴・研究業績概略，(5) 研究計画，(6) 本人について意見を求められる方 2 名の氏名と連絡先
8. 平成 10 年 2 月 2 日(月)必着
9. (1), (2) 〒 305 茨城県つくば市天王台 1-1-1  
筑波大学計算物理学研究センター 梅村雅之  
Tel: 0298-53-6494 Fax: 0298-53-6489  
email: umemura@rccp.tsukuba.ac.jp
10. 封書の表に「COE 研究員応募書類在中」と朱書きすること
11. その他：一般職の非常勤職員に任用され，月額約 30 万円の給与が支給される。また，平成 11 年度も同分野の COE 研究員 1 名を公募する予定である。その際，平成 10 年度に採用された者も応募資格がある。

### 国立天文台 COE 研究員公募

1. 研究者若干名（以下の全分野で若干名）
2. (1) 宇宙電波分野  
ミリ波干渉計の超高帯域関連器の開発，45 m ミリ波望遠鏡のマルチビーム超伝導受信機の開発，45 m 望遠鏡と干渉計を結ぶレインボウ計画などミリ波・サブミリ波観測性能の高感度プロジェクトに従事し，電波天文学分野における先進的な観測研究を推進する。  
(2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山

- (1) すばる望遠鏡プロジェクト  
建設中の大型光学赤外線望遠鏡「すばる」のプロジェクトに従事し，各種の技術開発・試験・観測・研究を推進する。

- (2) 当面は東京都三鷹市，あるいは岡山県浅口郡，ハワイ勤務もあり得る。

#### (1) VLBI 分野

VSOP，国内 VLBI 等のプロジェクトに従事し，活動的銀河核・星形成領域や星周領域のメーザー源などの観測・研究を推進する。

- (2) 主として東京都三鷹市

- (1) 天文学データ解析計算センター（地上観測を中心とした総合的天文データベースの構築）

- (2) 勤務地：東京都三鷹市

- (1) 理論天文学（大規模天文シミュレーション及び計算機共同利用の推進など）

- (2) 勤務地：東京都三鷹市

- (1) 太陽物理学（「ようこう」衛星，太陽フレア望遠鏡等）

- (2) 勤務地：東京都三鷹市

- (1) 位置天文・天体力学研究（重力レンズによる位置天文，重力波関連の技術開発）

- (2) 勤務地：東京都三鷹市

- (1) 地球回転（地上 VLBI 統一計画，月面 VLBI 等）

- (2) 勤務地：岩手県水沢市

- (1) 太陽電波（電波ヘリオグラフ）

- (2) 勤務地：長野県南佐久郡南牧村野辺山

5. (1) 平成 10 年 4 月以降，(2) 原則として 2 年
6. 博士の学位を取得または平成 10 年 3 月 31 日までに取得見込みのもので，平成 10 年 4 月 1 日現在 35 歳未満のもの

7. (1) 履歴書（写真付き），(2) 研究歴，(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し，共著の主要論文には役割分担を記すこと），(4) 主要論文の別刷又はコピー，(5) 研究計画書（希望の分野・プロジェクトを明記のこと），(6) 推薦書（ある場合は添付）

8. 2 月 27 日(金)当日必着

9. (1) 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 小平桂一

- (2) 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台企画調整主幹 観山正見

TEL : 0422-34-3738

10. 封筒の表に「COE 研究員応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付すること。別に公募する「国立天文台研究員」に併せて応募することは差し支えない。
11. 待遇は非常勤講師の扱いで、給与は月額 30 万程度を供する。

### 国立天文台研究員（非常勤研究員）公募

#### 1. 研究員（6 名程度）

国立天文台において、開発、観測、研究等に積極的に取り組み、先進的な研究を推進する若手研究者を求める。以下に分野、及び勤務地を掲げる。

#### 2. (1) 電波天文学分野（2 名程度）

(2) 主として長野県南佐久郡南牧村野辺山

(1) 天文学データ解析計算センター（1 名程度）

(2) 東京都三鷹市

(1) 光学赤外線天文学（2 名程度）

(2) 主として東京都三鷹市（岡山もあり得る）

(1) 一般分野（1 名程度）

(2) 主として東京都三鷹市

#### 5. (1) 平成 10 年 4 月 1 日以降

(2) 原則として 2 年

#### 6. 大学院修士課程修了、又はそれと同等の学力を持つ者。

#### 7. (1) 履歴書（写真付き）、(2) 研究歴、(3) 研究論文リスト（査読論文とそれを区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと）(4) 主要論文の別刷又はコピー、(5) 研究計画書（希望の分野・勤務地、受け入れ教官名（希望）を明記のこと）、(6) 推薦書（ある場合は添付）

#### 8. 平成 10 年 2 月 27 日（金）当日必着

#### 9. (1) 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台長 小平桂一

#### (2) 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台企画調整主幹 観山正見

TEL : 0422-34-3738

#### 10. 封筒の表に「国立天文台研究員応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付すること。別に公募する「国立天文台 COE 研究員」に併せて応募することは差し支えない。

#### 11. 教務補佐員としての給与を支給する（詳細については上記に問い合わせること）。

### 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

### 宇宙科学研究所教官

1. 第 90 巻 4 号
2. 金田英宏（日本学術振興会特別研究員）
3. 1997 年 11 月 1 日

### 京都大学理学部附属天文台教官

1. 第 90 巻 5 号
2. 北井礼三郎
3. 1997 年 11 月 1 日

### 群馬県立ぐんま天文台「観測普及研究員」

1. 第 90 巻 8 号
2. 河北秀世、衣笠健三、田口 光、濤崎智佳、長谷川 隆
3. 1998 年 4 月 1 日

### 宇宙科学研究所教官

1. 第 90 巻 5 号
2. 篠原 育
3. 1997 年 11 月 1 日

### 研究助成

### 三菱財団自然科学研究助成応募要領

#### （平成 10 年度）

#### 1. 助成の趣旨

最近の自然科学の進歩はめざましく、各学問分野の研究の深化はもとより、分野間の相互作用により、つぎつぎに新たな研究領域が誕生しつつあります。このような状況のもとで、本事業は、これらの科学・技術の基礎となる独創的、かつ先駆的研究とともに、既成の分野にとらわれず、すぐれた着想で新しい領域を開拓し、やがてその国際的發展に先導的役割を担う萌芽ともなる研究に期待して助成を行うことを趣旨としています。

本年度は、下記の分野を重点として助成の対象と致しますが、すぐれて独創的なものはそれ以外の研究でも積極的にとりあげられます。

なお、この助成金は、研究達成のため十分に活用できるよう、その用途をとくに制限致しません。

2. 重点対象分野

- (1) 自然科学分野における新しい現象を模索する理論あるいは実験研究
- (2) 新しいシステム技術、情報技術およびその関連分野の技術に関する基礎的研究
- (3) 境界領域に対する新しい工学技術開発のための基礎的研究
- (4) 地球規模の環境に関する基礎研究
- (5) その他

3. 助成の概要

- (1) 応募資格：原則として個人研究（但し少数グループによる研究も含む）を対象と致します。当該代表研究者が日本国内に居住し、国内に継続的な研究拠点を有する場合（国籍等は不問）
- (2) 助成金額：総額3億円とし、1件当たり2千万円以内
- (3) 助成金用途：研究達成のため十分に活用できるよう、その用途を特に制限しません。

4. 選考方法・結果通知等

- (1) 選考方法  
財団委嘱の下記委員からなる選考委員会において慎重審議の上、その答申案に基づき、平成10年7月開催予定の財団理事会・評議員会において正式決定されます。
- (2) 結果通知等・結果は、決定後直ちに代表研究者宛通知されます。なお「助成決定者」の一覧は、各種学術関係広報資料（科学新聞、学会ニュース等）にも掲載致します。  
・決定者への助成金贈呈は、平成10年9月の予定です。

5. 応募方法

- (1) 「インターネット登録」による「受付番号」の確定  
ご応募の際は、先ずインターネットにより「受付番号」をお取り下さい。  
「ホームページアドレス」  
[http://www.dcs.co.jp/m\\_zaidan/](http://www.dcs.co.jp/m_zaidan/)  
具体的には、当財団概要、各部門応募要領、正式申込書フォーム、共々財団ホームページへ掲載済の「三菱財団自然科学研究助成申込（インターネット登録）」により、該当各項目へご入力頂くことにより、当財団「受付番号」が表示されます。その後の手続は、全てその番号によって下さい。
- (2) 正式「文書申込書」の提出  
・受付番号が確定した後、当財団所定の「申込書書

式」を、同じくインターネットホームページより、ダウンロード頂き、必要事項を記入の上、正1通、副5通（コピー）の文書を左肩上に各ホチキス留めして、直接財団宛ご郵送下さい。（お申込内容は「本文書」を基準とさせていただきます。なお、E-mail方式での申込受付は致しません。）なお申し込み以外の参考資料等はこれを添付頂く場合も各1部のみで結構です。

財団法人 三菱財団

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号  
（三菱ビルディング15階）

電話 東京 (03) 3214-5754 番

- ・申込書用紙は、原則として、上記の如く、当財団インターネットホームページ上に、ワープロ形式（一太郎、MS-WORD）で掲載分を、ダウンロードしたものをご使用下さい。別に、当方にて関係各大学、研究所等宛に、送付済の用紙ないしそのコピーを使用頂いても結構です。（上記何れの方法にも依り得ない場合は、財団事務局宛に、「宛先記入済の返信用角3封筒に、190円切手添付」の上、ご請求あれば用紙等お送り致します。この場合、申込者住所、氏名ご記入済の「返信用ハガキ」を同封願えれば、受付日、受付番号を、当方にて記入、返送致します。）

(3) 応募期間

平成9年12月10日～平成10年2月20日

(4) 申込書記入上のご留意点

- イ. 申込み書の研究題目上部欄に申込研究題目のコード番号（別添コード表ご参照。なお本表は平成10年度版文部省科研費申請コードに準じたもの。）をご記入下さい。
- ロ. 又、前記本年度助成重点対象分野10項目の中より、お申込研究に該当する番号を（無ければ（11）を）同じくご記入下さい。
- ハ. 代表研究者が大学・研究所等に所属される場合は、当該大学・研究所等の所属機関の「長」から本件研究助成申込についてのご承認を得て下さい。（申込書末尾書式の通り）
- 二. 又、他機関に所属する協同研究者の参加が必要な場合も、協同研究者の所属機関の「長」のご了承を、予め代表研究者よりお取り置き願います。

**研究会・集会案内**

**協賛シンポジウム開催のお知らせ**

- 第 30 回 乱流シンポジウム
- 第 9 回 計算流体シンポジウム
- 第 3 回 環境流体シンポジウム

主催：(社)日本流体力学会  
 協賛：(社)日本天文学会・他  
 開催月日：1998年7月28日(火)、29日(水)、30日(木) 開催  
 場所：工学院大学新宿校舎  
 〒160-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2  
 TEL 03-3342-1211

講演申込期限：1998年3月31日(火)  
 原稿提出：1998年6月8日(月)  
 参加登録費：

- ・ 事前 (7月15日まで)
  - 会員 (学生) 3,000円 (1,000円)
  - 非会員 (学生) 4,000円 (2,000円)
- ・ 会場
  - 会員 (学生) 4,000円 (2,000円)
  - 非会員 (学生) 5,000円 (3,000円)

★天文学会会員は上記の会員扱いとなります。

問合せ先：(社)日本流体力学会  
 〒152-0011 東京都目黒区原町 1-16-5  
 TEL 03-3714-0427 FAX 03-3714-0434

**共同利用・共同研究**

**平成 10 年度共同研究等の公募について**

国立天文台における平成 10 年度共同研究等の公募を次のとおり行います。

1. 公募事項・内容

(1) 研究会・ワークショップ

国立天文台研究会及び同ワークショップ。(研究員等旅費及び必要な場合校費(印刷費等)を支給)

(2) 共同研究

国立天文台の教官と天文台外の研究者により特定の研究課題について共同で行われる研究。(研究員等旅費を支給)

本研究は、研究の形態により以下の3つに区分して募集します。

(研究区分)

- ① 少人数型：少人数・短期の場合
- ② 長期単独型：台外研究者が1人で、4泊5日以上

滞在する場合

- ③ 多人数型：台外研究者が4人以上の、目的を明確にした共同研究の場合

(3) 共同開発研究

共同利用観測・共同利用実験に関わる新しい装置等の開発・製作、また、より基礎的開発研究についての共同研究。(校費を主とし、必要な場合研究員等旅費を支給)

本研究は天文観測研究のために有効な機器等(ソフトウェアも含みうる)の開発研究を促進することを目的とし、開発研究としての意義、共同利用への有用性、大学など各機関における研究への寄与等を重視して審査します。平成10年度は、総額3,000万円程度とし、1件50～1,000万円で7～8件を採択する予定です。

なお、本研究については、採否を決定するにあたって、ヒアリングを行うことがあるので、ご承知ください。

- 2. 申込資格：国・公・私立大学及び国・公立研究所等の研究者又はこれに準ずる者。(大学院在学中の者は指導教官と連名で申し込んでください)
- 3. 申込方法：所定の様式による申込書1部を提出してください。

なお、研究の内容、経費等については、本天文台の担当教官とあらかじめ打ち合わせてください。(担当教官が不明な方は、安藤研究交流委員会委員長(TEL.0422-34-3601)に相談してください。)

- 4. 申込締切日：平成10年3月31日(火)期限厳守
- 5. 選考：応募研究課題の採否及び経費配分は、国立天文台研究交流委員会で審査し、運営協議会会の議を経て、台長が決定します。

なお、共同開発研究で研究期間が年度をこえるものについては、申請書にその旨記載のうえ、次年度にあらためて新規公募手続に従って申込書を提出してください。

- 6. 採択通知：採否の決定は、平成10年5月(予定)に行われ、結果を各申請者に通知します。
- 7. 所要経費：予算の範囲内において本天文台で支出します。
- 8. 施設等の利用：諸施設の利用については、天文台規則を遵守し、責任者の指示に従ってください。
- 9. 研究報告：研究終了後、30日以内に所定の様式による報告書を1部台長あて提出してください。  
 なお、提出された報告書は、本天文台の広報誌等に掲載することがあります。
- 10. 申込書提出先及び問合せ先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
 国立天文台管理部庶務課共同利用係  
 TEL 0422-34-3660・3661

上記の他に、国立天文台では現在次のような共同利用公募を行っております。

- \* 各観測所の観測装置の共同利用公募
- \* 計算機（三鷹・水沢）利用を主とする共同研究の公募
- \* その他分野における研究会（野辺山）の公募

- (6) 大学院生の場合、研究指導者の意見書
- (7) 航空運賃の見積書
- (8) 関連研究論文の写し（一編）

- 5. 応募締切：1998年3月10日必着
- 6. 決定時期：1998年3月下旬
- 7. 応募書類送付先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内  
日本天文学会 早川基金募集係

\*早川基金内規（天文月報第90巻第5号参照）による援助対象資格は「日本天文学会会員で、原則として35歳以下の天文学研究者であって、この基金以外の海外渡航費（滞在費を除く）の援助を受けない者。」です。

1998年はこの後、6月10日締め切りで1998年7～9月出発分の募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備をしてください。

## 会務案内

### 日本天文学会早川幸男基金受給者募集要項

日本天文学会 早川幸男基金（若手海外学術研究援助基金）内規\*に基づき、海外学術研究に対して援助を希望する者を募集（1998年度第2期）致します。

- 1. 援助金総額 年間200万円（1998年度）
- 2. 援助件数 年間数件程度
- 3. 募集対象期間 1998年4月1日～6月30日の間に日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わず、すでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。
- 4. 応募必要書類（少なくともコピーの分はA4紙に統一すること）

原本1部、コピー5部。書類（特にコピーの分）に不備があると審査段階で不利益を被る恐れがありますのでご注意ください。

- (1) 応募用カバーシート（第90巻5号249頁の応募用紙をA4に拡大コピーして使用する）。なお、渡航目的と応募者の研究内容との関連は詳しく書くこと。
- (2) 論文リストを含む研究業種
- (3) 観測については、観測割当通知および観測提案の写しか、それに準ずるもの
- (4) 国際共同研究については、渡航先の招聘状および研究計画の概要
- (5) 研究会参加については、当該研究会開催の主旨を説明する資料、プログラム、および応募者の寄与（口頭発表等）を証明するもの

### 会費納入のお願い

天文学会は主に会員の皆様から納入される会費によって運営されております。天文学会は1998年度より定款改訂に伴い会計年度が1月～12月となりましたので1998年1月12日から3月31日までの間に1998年度会費を納入して下さい。

※学生の方は郵便振替ご利用の時は通信欄に、所属大学、学年等、学生である旨を明示して下さい。銀行振込の時は別途郵便、E-Mail、FAX等でお知らせ下さい。（天文月報奥付に記載してあります）

◎会員の方々の管理は会員番号によっておりますので会員番号を必ず明記して下さい。

銀行振込をご利用の方は

東京三菱銀行三鷹支店 普通 4434400

社団法人日本天文学会

郵便振替は

00160-1-13595 社団法人 日本天文学会

へご送金下さい。

編集委員	末松芳法（編集長）、上野宗孝、大橋正健、小谷太郎、辻本拓司、野口邦男、平野尚美、宮坂正大
平成10年1月20日	発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷
定価700円（本体667円）	発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
TEL: 0422-31-1359（事務室）	／ 0422-31-5488（月報・欧文編集） FAX: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のホームページ	<a href="http://www.tenmon.or.jp">http://www.tenmon.or.jp</a> 月報編集 e-mail: <a href="mailto:gjimu@tenmon.or.jp">gjimu@tenmon.or.jp</a>